

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月10日

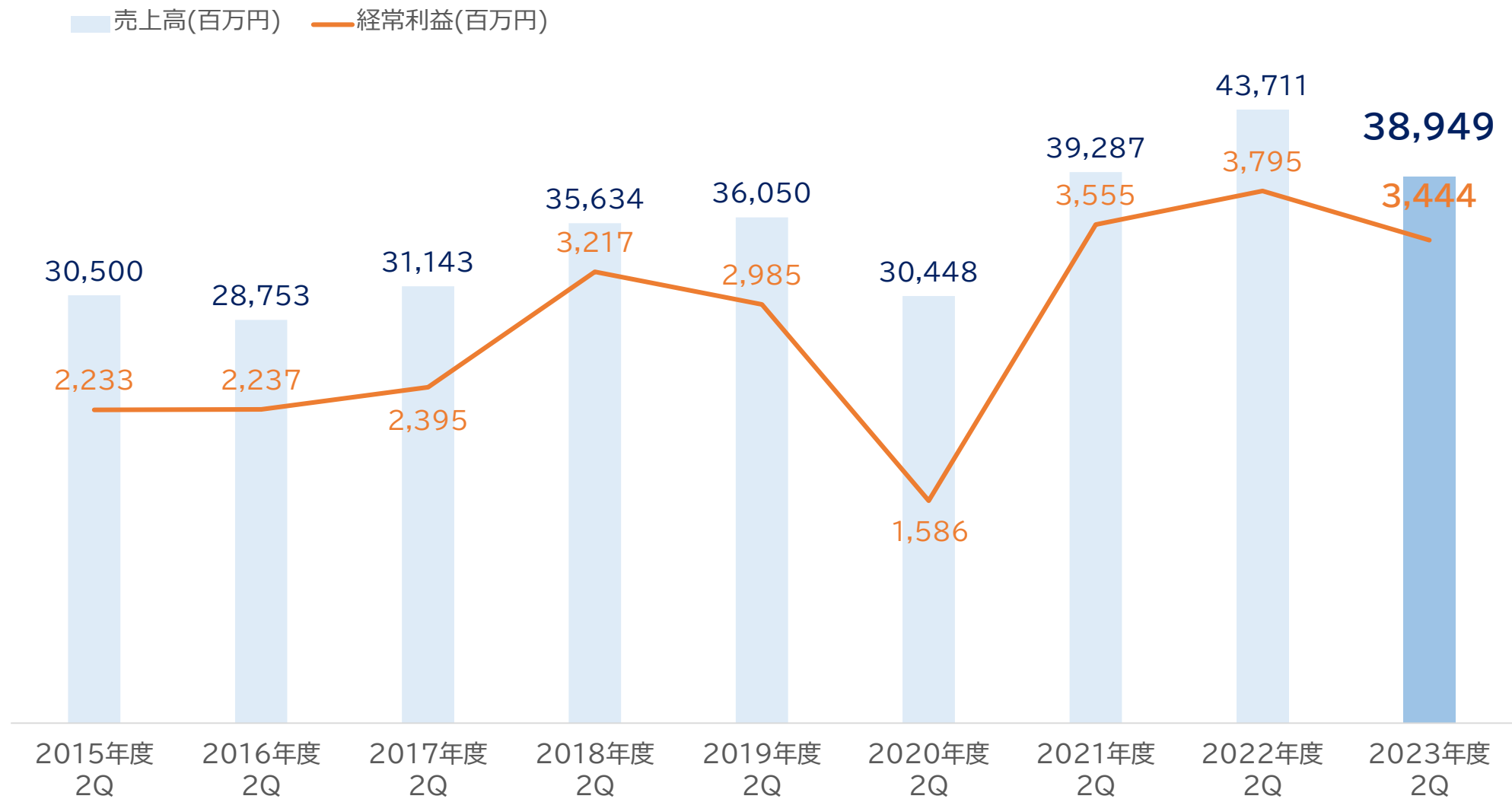
2024年3月期 第2四半期連結決算概要

TOPICS

- 船内作業は増加したものの、沿岸作業および国内倉庫保管が減少したことに加え、海上運賃および航空運賃が下落したことにより減収 ↓
- 売上高の減少に加え、人件費等の上昇により販管費が増加して営業減益 ↓
- 前期の旧社屋解体費用等特別損失の改善に加え、固定資産売却益の発生により純利益増 ↑

	2022年度 2Q		2023年度 2Q		増減		2023年度 通期予想	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	増減率	金額 (百万円)	進捗率
■ 売上高	43,711	100.0%	38,949	100.0%	△ 4,761	△ 10.9%	79,000	49.3%
■ 営業利益	3,576	8.2%	2,759	7.1%	△ 817	△ 22.9%	5,000	55.2%
■ 経常利益	3,795	8.7%	3,444	8.8%	△ 351	△ 9.3%	6,250	55.1%
■ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,293	5.2%	2,412	6.2%	+ 118	+ 5.2%	4,300	56.1%

連結売上高および経常利益の推移



部門別売上高および主な増減要因

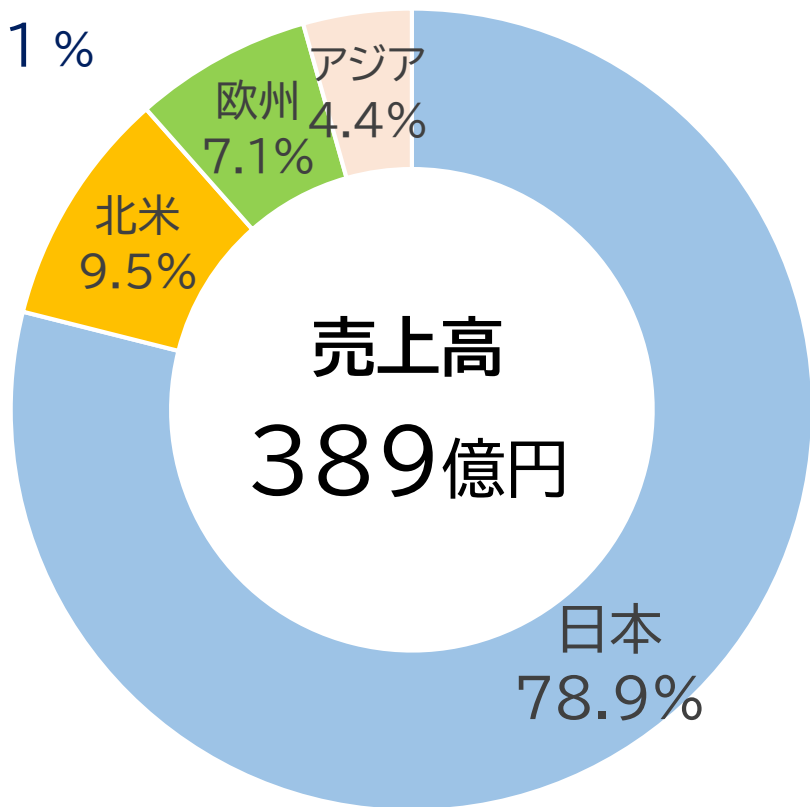
(単位:百万円)

セグメント	部門名	2023年度2Q (前年同期比)	主な増減要因
港湾運送 および その関連	港湾運送部門	23,039 (Δ3,467 / Δ13.1%)	<ul style="list-style-type: none">船内作業は増加したが、沿岸作業が減少海外での貨物取扱いは低調
	倉庫保管部門	5,653 (Δ0 / Δ0.0%)	<ul style="list-style-type: none">国内保管貨物の減少海外での貨物保管増加
	陸上運送部門	6,148 (Δ235 / Δ3.7%)	<ul style="list-style-type: none">自動車関連や鋼材を中心とした内国貨物輸送の減少
	航空貨物運送部門	1,241 (Δ1,118 / Δ47.4%)	<ul style="list-style-type: none">物流混乱の解消に伴い、緊急輸送需要が低下して海上輸送へシフト
	その他の部門	2,030 (+109 / +5.7%)	<ul style="list-style-type: none">梱包作業の増加
		38,113 (Δ4,712 / Δ11.0%)	
賃貸		836 (Δ49 / Δ5.6%)	<ul style="list-style-type: none">倉庫賃貸面積の減少

連結業績 エリア別割合

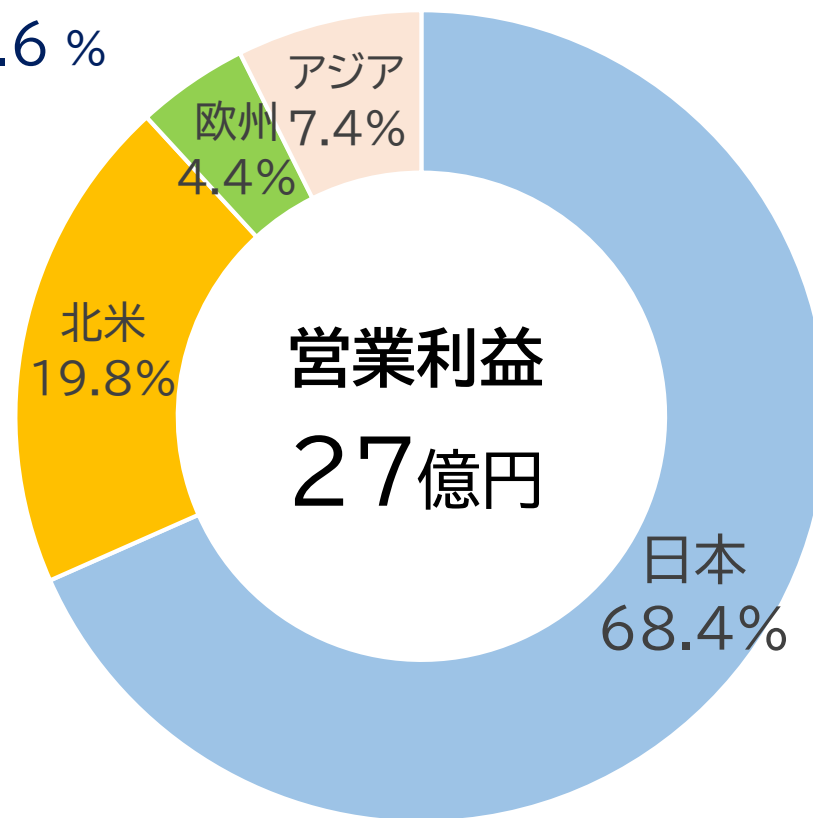
海外割合

21.1%



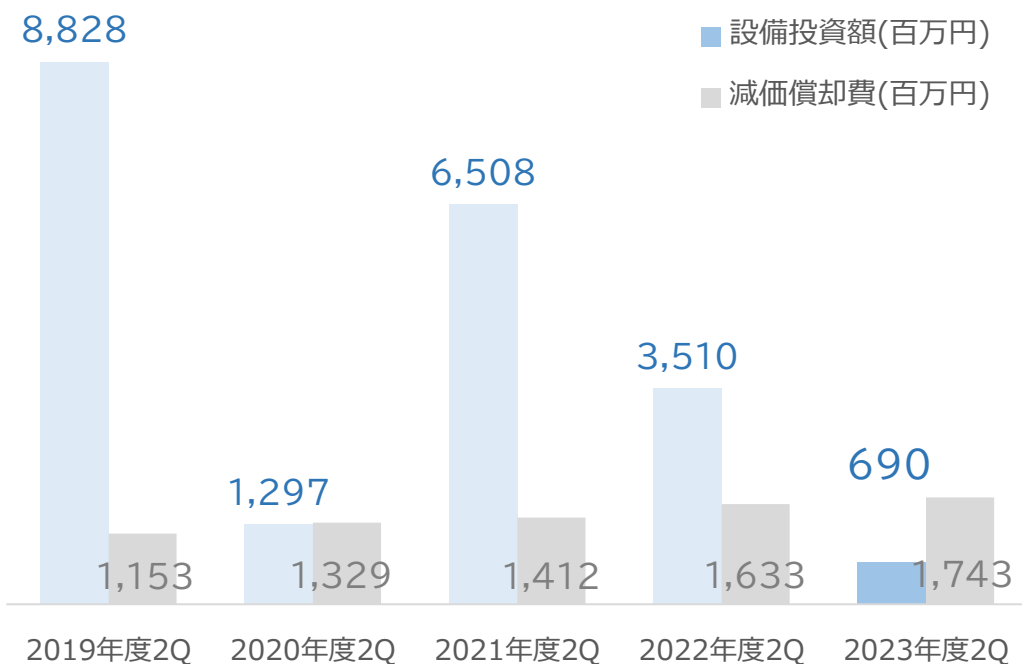
海外割合

31.6%



設備投資の推移

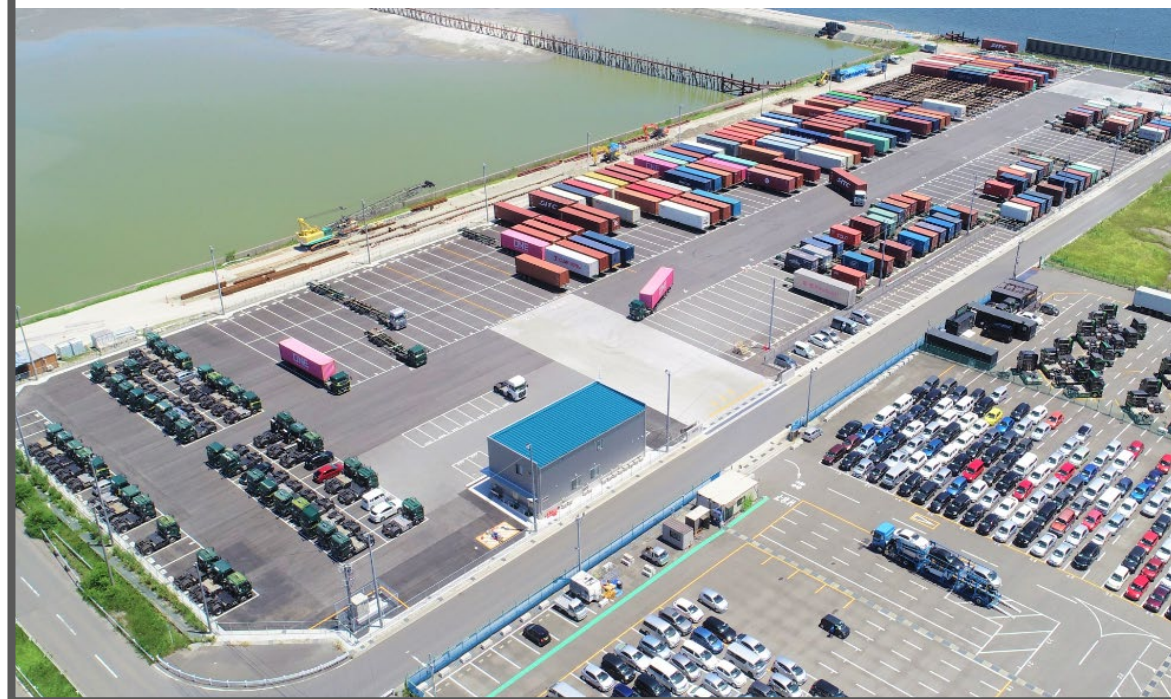
- 国内および海外において、設備投資を継続的に実施し、物流事業の拡充を図っています。
- 引き続き、名古屋港 東側エリアの老朽化した倉庫の再編や顧客ニーズを捉えた海外や内陸拠点の拡充を検討し、施設新設時には当社のサステナビリティ方針に基づいて、環境への配慮とBCP体制強化に取り組んでまいります。



当期の主な設備投資

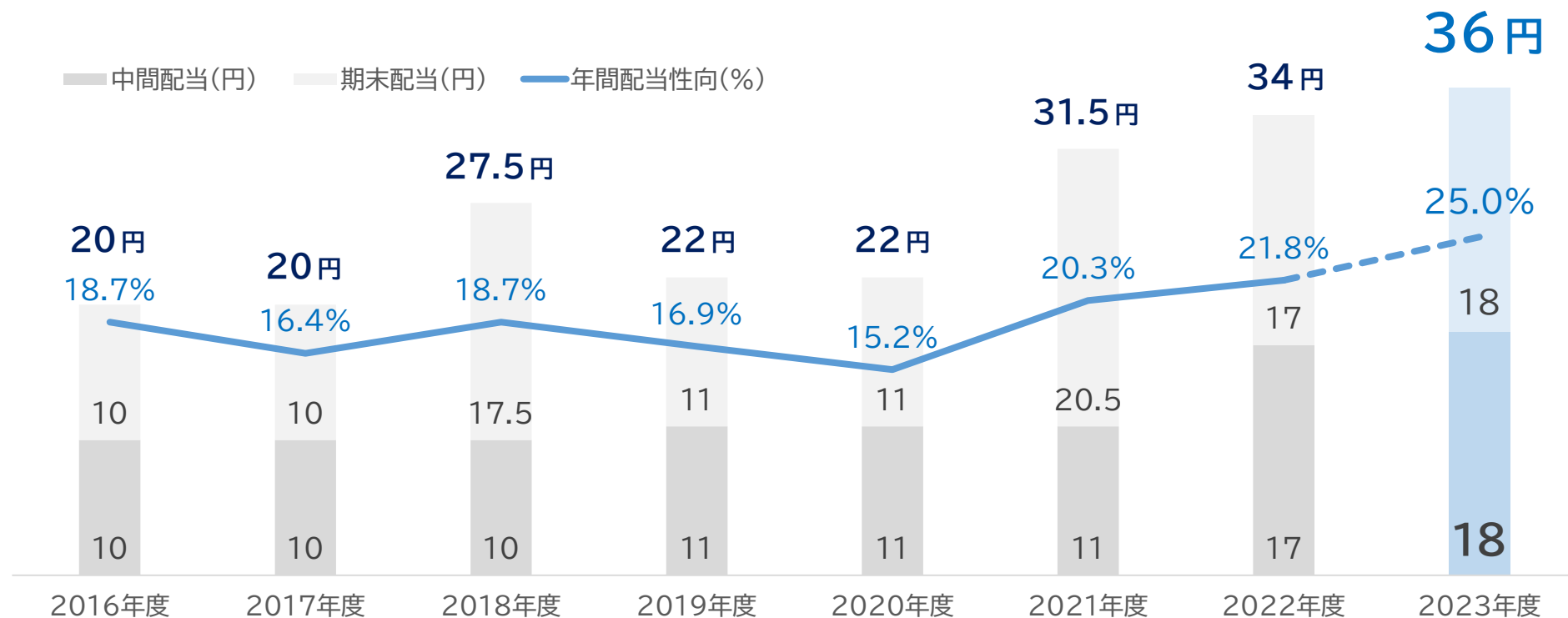
弥富輸送センター（愛知県弥富市） 2023年6月竣工

連結子会社 名海運輸作業(株)において、コンテナターミナルおよび高速道路へアクセスが良い立地に輸送センターを新設。従来よりキャパシティを拡大し、分散管理していた輸送機器を集約して合理化を図っています。



配当金および配当性向 推移

- 当社は、将来の事業展開や設備投資、大規模災害等への備えとして内部留保の充実を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。
- 当期の中間配当金につきましては、上期の業績動向および財務状況等を総合的に勘案し、直近予想の通り、1株につき18円といたします。
また、期末配当金につきましては、年間の配当性向25%を目安に、1株につき18円を予定しております。



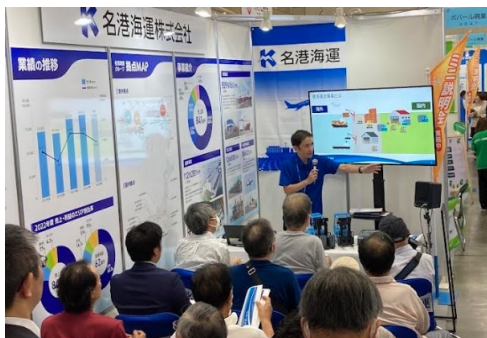
※2023年度の期末配当、年間配当性向は予想値

名証IRエキスポ2023に初出展

2023年9月8日(金)・9日(土)に名古屋証券取引所が主催する「名証IRエキスポ2023」に初出展いたしました。

イベント中は多くの個人投資家のみなさまに当社の事業内容や業績、取り組みなどを説明することができる機会となりました。

今後も、当社のIR活動の充実に努めてまいります。



消防との連携訓練を実施



当社物流センターにおいて、水上消防団と名古屋市港消防署と連携消防訓練を実施しました。

火災発生から119番通報、初期消火、救助までの一連の流れや屋内消火栓の使い方を再確認いたしました。

訓練は消防署職員の方から有事の際のポイントについてレクチャーを受けながら進めたことで、災害対応力を向上させる機会となりました。



【ご注意】

当資料は、名港海運株式会社(以下、「当社」という)へのご理解を深めていただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載されている将来にわたる事項については、2023年11月10日現在において入手している情報に基づいて、当社が予測および判断したものであり、様々なリスクや不確定要素に左右され異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。当社は、これら将来にわたる事項について、内容の確約・保証および情報を訂正する一切の義務を負いません。

投資・その他のご判断については、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

TOTAL LOGISTICS PARTNER

 **MEIKO TRANS**